

行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	新型インフルエンザワクチン接種助成費臨時補助金	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 亀井 美登里		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「平成21年度新型インフルエンザワクチン接種助成事業実施要綱」の策定について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	新型インフルエンザワクチンの接種者のうち、低所得者の実費負担については、予防接種法の定期接種における実費負担免除の考え方に準じ、市町村民税非課税世帯を念頭に、ワクチン接種の実費負担による経済的負担を軽減することを目的としている。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	新型インフルエンザワクチンの接種者のうち、市町村が定める低所得者等が受託医療機関等において、ワクチンの接種を受けた際に支払う実費負担について、その費用を助成する措置を講じる。 (補助率 2/3)					
実施状況	箇所数 1,777市町村					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)			42,072	23,554	-
	執行額			16,124		
	執行率			38.3		
	総事業費(執行ベース)			41,534		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途の把握については、事業完了後提出される事業実績報告書により把握。				
	見直しの余地	新型インフルエンザの接種を希望される方に対し、引き続き可能な限りの対応ができるよう備えておく必要があるため、平成21年度予算の一部を平成22年度に繰り越した。				
予算チーム視の・効率化	平成21年度予算の一部を平成22年度に繰越し、本事業の目的は本年度(平成22年度)をもって概ね達成されたと判断し、平成23年度は要求していない。					
補記						

厚生労働省 16,124百万円

〔 交付申請書の内容審査、交付決定、補助事業者の指導監督等 〕



【補助】

A 都道府県(47) 16,124百万円

(内訳) 上位10者

兵庫県	1,964百万円
神奈川県	1,833百万円
大阪府	1,350百万円
東京都	943百万円
千葉県	811百万円
福岡県	734百万円
青森県	544百万円
北海道	537百万円
埼玉県	500百万円
広島県	437百万円

〔 市町村への間接補助 〕



【補助】

B 市町村(1,777) 16,124百万円

(内訳) 上位10者(兵庫県の例で記載)

神戸市	532百万円
姫路市	185百万円
西宮市	166百万円
尼崎市	164百万円
明石市	105百万円
加古川市	94百万円
宝塚市	80百万円
伊丹市	71百万円
川西市	57百万円

〔 新型インフルエンザワクチン接種助成事業の実施 〕

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.兵庫県 * 負担率1/2のため国費相当に按分			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
新型インフルエンザワクチン接種助成費補助金	市区町村に対する新型インフルエンザワクチン接種助成費の補助	1,964			
計		1,964	計		0
B.神戸市 * 負担率1/2のため国費相当に按分			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
助成費	低所得者に対する新型インフルエンザワクチン接種費の助成	532			
計		532	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)